

招 へ い 研 究 者 報 告 書

招へい研究者氏名	ダブリンシティ大学 Dr Joss Moorkens		
招へい期間	(西暦) 2023年4月1日～2023年4月27日		
受入機関	外国語学部		
受入担当者	所属	外国語学部	資格 教授
	氏名	阪本章子	

講演会実績

- 研究者向け講演会タイトル: 'I am not a number': On quantifying and mathematising translation processes 「私は数字じゃない!」 翻訳プロセスの定量化・数値化についての考察
- 日時: 2023年4月25日(火) 15:00～16:00
- 概要: 本学学生、教員、また他大学からも含め約15名が参加した。翻訳という人間が行う営みのプロセスや質が昨今では数値化されて評価されるようになった結果、どのような弊害が生まれているのか。また、今話題のChatGPTなど、LLM(大規模言語モデル)テクノロジーに私たちはどのように対峙していくべきなのかなど、質疑応答でも活発な議論が行われた。

- 学生向け講演会タイトル: Development of machine translation and work practices in translation 発展する機械翻訳・変化する翻訳者の仕事
- 日時: 2023年4月21日(金) 3限目(13:00～14:30)
- 概要: 本学の学部生のみならず、大学院生、教員、他大学の研究者など、約40名が集まった。機械翻訳の歴史と発展について、アーキテクチャ(コンピュータの理論的構造)の流れと開発者の理念・野望についての説明のあと、それが現代の翻訳産業に与えている影響について報告があった。質疑応答では、機械翻訳はもちろん、今話題のChatGPTなど、LLM(大規模言語モデル)テクノロジーにまつわるリスクや倫理面にも対話が広がり、有意義な講演会となった。

招へいの成果

招へいの目的は主に2つあった。

- ① 受け入れ担当者との国際共同研究『デジタルワーカーとしての翻訳者：翻訳者の労働生活の質と翻訳テクノロジーとの関連性』（科研費プロジェクト）の研究実施
- ② Joss Moorkens 先生による日本の機械翻訳研究についての聞き取り調査

以上の目的達成のため、以下のような研究用務を行った。

【1】 2023年4月20日、目的②のために、関西大学岩崎記念館において、勉強会を行った。
参加者

- 藤田 篤 情報通信研究機構(NICT) 先進的音声翻訳研究開発推進センター 主任研究員
- 宮田玲 東京大学 大学院教育学研究科 講師
- 山本真佑花 東京大学 大学院教育学研究科 特任助教
- 香川璃奈 筑波大学 医学医療系 助教授
- 水本篤 関西大学外国語学部 教授
- 阪本章子 受け入れ担当者

各参加者の機械翻訳関連研究の報告のあと、Q&Aやディスカッションを通じて情報交換を行い、今後の共同研究や研究ネットワーク確立の可能性を話し合った。

【2】 2023年4月22日、目的①（プロジェクトの拡散）と目的②のために、立教大学・異文化コミュニケーション研究科を訪れ、研究科教員・研究生ら8名と勉強会・打ち合わせに参加した。

【3】 招聘期間を通じて①の目的で受け入れ担当者と共同でデータ収集・分析・論文執筆を行い、学術雑誌 *Translation Spaces* への論文投稿を終えた。

【4】 受け入れ担当者の授業（通訳翻訳概論、卒業演習）に参加し、学生らのスタディーアブロード（1年生）や卒業プロダクト（4年生）へのアドバイスを与えるとともに、交流をおこなった。